

APRIL 2012 vol.28

## MIE EMPLOYERS' ASSOCIATION



御田植祭 (志摩市) 日本三大御田植祭の1つで、伊勢神宮内宮の別宮 「伊雑宮」 の祭であります。平安期の古式床しい衣装を身にまとい、田楽に合わせての田植、青年達の 「竹取行事」 「おどり込み行事」 が繰り広げられ祭は最高潮となります。また、本年は御料田をかこむ観覧席が用意されます。

写真提供:三重県観光連盟

#### 目次・主な内容

■ Top News 理事・役員会	2	■ 教育機関N
■ トップインタビュー	4	■ 会員発HO
■ リレー随想	7	三重県労働
■ 三重経協News	8	事務局Ne
■ 委託事業News	13	業務日誌

■ 教育機関News	15
■ 会員発HOTニュース	16
■ 三重県労働委員会News	17
■ 事務局News	18
■ 業務日誌	20

## 理事・役員会

3月28日(水)プラザ洞津2階「末広の間」に おいて、理事・役員会を開催し、29名の参加者が ありました。



挨拶する岡本会長

#### 1. 会長挨拶要旨

3月6日に日本経団連にて、全国の経協トップが 集まる「地方団体長会議」が開催され、各地の経 協の「組織面」並びに「機能面」の強化について 意見交換が行われました。

そして私が中部ブロックでは代表して、三重経 協の来年度の取り組みを発表してまいりました。 主な内容は「組織面の強化」について、三重県は、 四日市市を中心とする北勢地域の経済力が格段に 強く、県内企業の48%がこの地域に存在し、県内 総生産の5割を占めておりますが、当協会は津市 にあるために、県北部へのアプローチが今まで手 薄になっておりました。この状況を打開するため、 来年度からは、北勢地域を新規会員獲得の重点地 域として、様々な活動を展開していくことにして おります。具体的には、北勢地域の企業への個別 訪問を一層強化し、理事会社の皆様方に対しまし て、新規会員の候補会社を1社以上ご紹介頂きたい と考えております。これらの取り組みを進めるこ とにより一定の成果が得られた段階では、北勢地 域に支部をつくることも検討してまいります。

次に「機能面の強化」につきましては、全国でも珍しい取り組みであり、連合三重との協働事業でもある、「三重労使雇用支援機構」の活動を、さらに強化してまいります。労使が一体となって、高校生などの就職の支援活動に力を入れており、大変好評を得ております。若手社員の定着率を高めるために企業の人事担当者を対象に、若手社員

を育成するポイントや具体的な取り組み例をアド バイスし、ミスマッチの解消、早期離職防止など トータル的な支援を行っております。若年層と並 んで、重要課題である中高年齢者の就職支援につ いてもこれらの活動を来年度は一層強化してまい ります。また、女性の労働力の活用も考えていか なければなりません。日本が抱える人口減少や、 少子高齢化の問題は、一朝一夕に解決できるもの ではありません。女性はもちろんのこと、若者や 高齢者、障害者の方も含めた全員参加型の社会を 作り上げていくことが大切であり、社会全体で働 きやすい仕組みを整えることが重要だと認識して おります。もうひとつの機能強化策として、会員 企業や地域の中小企業における人材育成をサポー トするため、愛知・岐阜・三重の中部3県の経営 者協会が、それぞれ実施している教育・研修活動 について、他県の会員企業も、各協会の会員扱い として、相互に参加できる体制づくりを目指しま す。

以上、来年度の活動の概略と、皆様にお願いしたい事項をお話させて頂きました。理事の皆様には、何卒ご理解を賜り、特に新規会員獲得について心強いご支援を頂きますよう改めてお願い申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。



理事会風景

#### 2. 協議事項

- (1)平成23年度事業報告(案)について
- (2)平成24年度事業計画及び予算(案)について
- (3)役員人事の件

上記3件の協議事項については、承認を得まし

たので、会長・副会長会議に諮り、5月の定時会 員総会に提案をさせていただくことになりました。

#### 3. 活動報告

- (1)第18期労務管理改善協力委員会
- (2)女性懇話会
- (3)第47回三重労使会議

- (4)大学生等インターンシップ受入企業開拓事業
- (5)70歳まで働ける企業創出事業
- (6)新卒者就職応援プロジェクトコーディネート等 事業
- (7)最低賃金中小企業相談支援事業
- (8)三重労使雇用支援機構
- 以上の活動報告が事務局より報告されました。

## 特別講演会

## 『忍者学を経営に活かす』



国立大学法人 三重大学 特任教授 伊賀流忍者博物館 名誉館長

## 加 上 仁 一氏

忍術とは日本の風土・文化(独特の四季、人情、 人の和、宗教等)の中で形成された軍用の技術で あり、大きな勢力に対して、可能な限り小さい力 で効果的に対抗できるように考えられた方策であ ります。

忍者とは、自分を含む所属の集団を守る目的のために、工夫された術技を職能として使う者を意味します。また忍術は、孫子など中国兵法の理を日本的に咀嚼して解釈し、実践の術技として具体的にまとめられているのは事実ですが、中国伝来のものではなく、日本独自に大成された兵法に属するものです。

忍術の基本的な理(ことわり)とは、何事にも 機(好機の瞬間)をとらまえて敵の間隙(油断や 弱点)を衝くことであります。これが一番に大事 であり、機を把握するには・天の時(天候、時勢、 風評等)・地の利(地形、風土、交通等)・人の 和(性質、感情、思想等)の三利を得ることが基本であります。また虚を実に、実を虚とするなど、 既成概念や常識に捉われない考え方が望ましく重要であります。

忍術(忍術学)は道具を使って戦ったりする格 闘武術ではなく、情報を収集・分析しながら、敵 を想定した地政の状況を考えて把握し、自分の生 活なり産業なりといったものを向上するための活 用手段とすることであります。忍者の三病といわ れる(恐れ・侮り・考えすぎ)を克服し、人間の 五情(喜・怒・哀・楽・恐)五欲(食・性・物・ 風流・名誉)といわれる精神・生理作用を利用し、 それを自分自身に於いてはコントロールしながら、 相手に対して駆使していくのです。

忍者の精神は私利私欲ではない正心の思想(規範)であり、任務を実行しようとするには鍛錬による不屈の信念が必要であります。時により神仏の加護を祈りながら得る任務貫徹の信念 - 不動心 - その心が忍の意味であります。忍という字は心の上に刃と書きます。心臓の上に刃物が乗った状態を心構えとして駆使する方策が忍術であり、それを実践する人間が忍者であります。

忍術と経営とは、将(リーダー・方針)→戦略・謀略(企画)→戦術・謀術(具体的実施、工作、宣伝)→諜報(情報の収集と分析)、撹乱・防諜・奇襲などの共通的に解釈出来る部分が多く有ります。

古典的な軍用技術を、反社会的部分や現代生活に不要なものを除き、現代的に取りまとめたものとして活用してみてはどうでしょか。

(要旨のみ記載)

## ★トツプ interview★



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。 第25回は経営者協会理事会社であります、おやつカンパニ 一株式会社 代表取締役社長 松田 好旦さんにお話を伺うこ とができました。

## 「たっぷりたのしい"おやつ"と "夢"の創造」~食品から菓子化へ~

~1948年に会社を設立(当時の社名は「松田産業有限会社」)し、今では子供から大人まで愛されるヒット商品「ベビースターラーメン」や、最近ではフランスパン工房など多数ヒット商品がございますが、一昨年で創業60周年を迎えられいろいろご苦労もあろうかと思います。エピソードなどお聞きかせ下さい。~

父による会社の創業と同じ年に私が生まれました。 まさに会社と共に生きてきました。

入社して30歳(1978年・昭和53年)で専務に就任 し、実質的に経営を任されました。その中で同族経 営、いわゆる「家業」から、現代的な「企業」への脱 皮を図ってゆくことになります。

1978年にミニカップラーメンを発売し、大ヒットを記録しました。当時30億円だった売上が80億円にまで増えますが、その後、他社の参入によって売上は急降下しました。売上の急上昇・急降下という経験をあじわいましたが、これによって「思いつきで売れたヒット商品は長続きしないこと」を知り、また経営上の問



本社ビル

題点も表面化しました。問題点が見えたことで、結果として経営の近代化も進んだことになります。この経験 は非常に貴重な物でした。

その後、ベビースターを中心として安定した売上を維持していましたが、1990年代に駄菓子からスナックへの脱皮・進化を図り、ラーメン丸、ドデカイラーメン、ラーメンおつまみといった高価格帯(100円以上)の商品を展開し、業績を伸ばしました。フランスパン工房は、三河地方の「えびせん」をスナック化した「えびチップス」という商品があり、その技術を応用して新しいスナックができないかと試行錯誤する中で生まれた商品です。

ベビースターは半世紀以上に渡って愛されている超ロングセラー商品ですが、長く売り続けていてもお客様に飽きられないよう、味を少しずつ変えるなど、工夫を重ねています。2年前には麺の形状や味をリニューアルするなど、同じ商品を売り続けるためには革新も必要と考えています。

~御社は社名を「松田産業有限会社」、「松田食品株式会社」、「株式会社おやつカンパニー」と2度変更 されておられますが、現在の社名の由来をお聞きかせ下さい。~

1988年に、旧来のベビースターラーメン(オレンジ色)のデザインを大幅に見直し、現在のキャラクター(ベイちゃん・ビーちゃん)を登場させました。ロングセラー商品の大リニューアルということで、私自ら全国各地を営業に回りましたが、その時に知ったのは、「ベビースターラーメン」は誰でもご存知ですが、一方で「松田食品」という社名の知名度は全くないということでした。それをきっかけに「事業内容がわかりやす

く、ちびっこの世界を表現した名前」といったポイントで今の社名を決めました。「おやつを作る会社」というわかりやすさと、子供でも読めるひらがな・カタカナの社名であるのがポイントです。

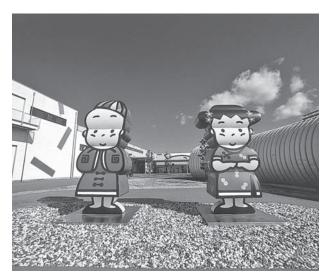


久居工場

~「遊びゴコロ」あふれる3つの工場がございますが、特にその1つである久居工場では、ユニークなウェルカムヌードルを建設され、地元をはじめ近県のお客様へ工場見学を積極的に実施されて大好評とお聞きしておりますが、そのコンセプトについてお聞かせ下さい。~

三重県や近県の幼稚園・小学校などを対象に、工場見学を実施しており、年間2万人にご来場頂いています。来てもらったちびっ子達に、分かりやすく製造工程を見てもらい、また何よりも楽しんで、夢を感じてもらえるよう、工場の外観から内装まで工夫を凝らしています。

工場内の休憩施設「ウェルカムヌードル」は、ベビースターラーメンの「めん」の形をした建物で、この中でその日、できたばかりのベビースターラーメンを試食して頂いています。



キャラクター「ベイちゃん」「ビーちゃん」



ウェルカムヌードル

~平成22年度の経済産業大臣より「知財功労賞」を受賞されておられますが、この「知財功労賞」とはどのようなもので、どのような事が評価されたのでしょうか?~

「知財功労賞」とは、経産省と特許庁が「産業財産権制度」に寄与した企業などに対して授けている賞です。特許・知的財産といった制度は、日本の企業が国際的に戦ってゆく上で、非常に重要なものと考えています。当社は「おやつカンパニー」という社名、「ベビースター」というブランド名と、キャラクター(ベイちゃん・ビーちゃん)を組み合わせ、商標を活用していることなどが評価されました。

歴代の受賞企業はトヨタ自動車、サンリオ、パナソニック、ソニー、花王など大企業ばかりで、当社が何故 受賞したのかと思いましたが、幅広い年齢に認知されているブランドということで選んで頂けたのではないか と思います。

受賞の記念式典には天皇陛下も御臨席されるなど、大変感慨深いものがありました。

## ★トツ7° interview★

#### ~おやつカンパニーの未来像についてお聞かせ下さい。~

当社の経営理念は「たっぷりたのしい"おやつ"と"夢"の創造」であります。創業当時は戦後の食糧難の時代であり、食品には「たっぷり」が求められました。しかし今は飽食の時代であり、食品、とくに菓子には「たのしい」事が求められています。先述したキャラクター戦略や工場見学などを通じて、ちびっ子達に「たのしさ」や「夢」を提供し続けたいと思っております。

また、当社では社名にもある通り「おやつ」という言葉を使っています。「おやつ」というのは、菓子でも食品でもない、その中間という意味であります。ベビースターラーメンはラーメンという食品を「菓子化」したものであり、フランスパン工房はパンを「菓子化」したものであります。この「食品の菓子化」が当社の商品開発コンセプトとなっており、このコンセプトに沿って今後も画期的な新商品を開発してゆきたいと思っております。



ウェルカムヌードル内

#### ~最後に、オフの過ごし方、趣味などお聞かせ下さい。~



客間にて

余暇は色々な本を読みます。1日、1時間たりとも無駄な時間は過ごしません。半日でもボサッとするのが嫌いで、今年のお正月も元旦は家族団らんで過ごしましたが、2日~4日は本を買ってきて読書三昧。だからテレビは殆ど見ないからタレント音痴です。本を読みながら色々な事を考えるとピン!ときて経営者としてのヒント、商品開発のヒントを得ます。それをすぐ実行します。ひらめきは頭を使っていないと出てこないです。本のおかげです。

その他にゴルフもしますが、ウォーキングもします。5 kmを55分~1時間と目標を決めて歩いています。健康が 第一です。健康でないと社長業は務まりません。

この他に茶器や陶器、掛け軸等、多数収集されておられましたので写真を掲載致します。客間は季節に応じて 模様替えされておられるそうです。

#### ◆松田社長略歴

1948年3月生

プロフィール =

●1948年 三重県津市一志町出身(旧一志郡)

● 1967年 三重県立津高等学校卒業 (昭和42年卒)

● 1967年 愛知学院大学商学部経営学科入学

● 1973年 愛知学院大学大学院修士課程卒業

● 1973年 名古屋大手菓子問屋にて修行

●1974年 松田食品株式会社入社

● 1978年 同社 専務就任

● 1982年 同社 代表取締役副社長就任

● 1989年 同社 代表取締役社長就任

● 1993年 CI導入

"株式会社おやつカンパニー"に 社名変更

## 先生たちを助けたい



キャリアフェイス 代 表 山 口 友 美 氏

4月2日の年度初めに「第1回 中小企業合同入 社式」を主催させていただきました。NHKテレビ の夕方のニュースに出していただいたのでご覧にな っていただいた方もみえるかもしれません。新聞各 社も取材にみえたのは、三重では合同入社式が珍し いからだと思います。社長さんたちも新入社員も緊 張の中で決意表明や訓示を行っておりました。私ど もが今回これを主催したのは、学校教育現場と社会 との橋渡しがしたかったからです。高校や大学でキ ャリアコンサルタントとしてキャリア教育の外部講 師をしていると、目の前のこの子たちがいきなり会 社に入り、現場に行き、歳の離れた先輩社員さんた ちにあれやこれやと言われたら、もたないだろうな あと感じていたからです。学生気分の抜けない若者 にけじめをつけて仕事をする覚悟を持ってもらいた い、そして少しでもいいから研修を受けさせてやっ て欲しい。それが定着につながると社長さんたちに 訴えてきました。それが今回の形になったのです。

今、学校では「キャリア教育」が必修科目になる かとも言われています。キャリア教育とは社会を生 き抜く力を育む教育といわれています。この言葉が 公文書に書かれてもう15年です。それまでの進路指 導とどう違うのでしょうか。

進路指導はマッチング作業です。生徒一人ひとりの能力に応じた上の学校なり職業なりをもっぱら偏差値という学力を中心に選択してきました。今のキャリア教育は、その偏差値だけで社会を生き抜くこ

とができなくなったからできた教育です。頭がいいだけ、成績がいいだけではグローバル社会で通用しないのですね。では何が必要なのでしょうか。それが経験を基にして自らを成長(変化)させていく力、環境に適応させていく力ともいわれています。他者や環境へのコミュニケーション力です。でも一体学校で先生がたがどうやってそれを教えていくのでしょうか。先生の仕事は知識・学問を教えることです。知識以外のことは、昔は家庭を中心とした地域社会が子どもたちに教えていたのです。自然風土に触れ、郷土の歴史を学び、世代間で生き方を学び、たくましく世の中を生き抜いていく力を地域が育んでいたのです。

今、私どもは「教育CSRのネットワーク事業」という名前で、地域がもっと良い意味で学校に関わり、 先生方を助けていけたらという取り組みを始めました。地域の中小企業は地元の子たちを採用します。 それならば学校に居る間にもっと関わり、彼ら彼女らにもっと社会に触れさせてあげて欲しい。経験を積ませてあげて欲しい。皆が一緒に人材教育に取り組んでいける地域を作りたい。夢のようなことかもしれませんが、昔に還るだけです。できないことではありません。

何より学校の先生たちを助けたい。家庭が変わり、 若者が変化し、その歪みがまず学校へ押し寄せてい ます。何もかもを学校教育のせいにしてはいけない のではないか、と思います。私たち大人が力を合わ せて若者が希望を持って社会へ出ていける仕組みを 作っていけたらと思います。



## 第7回 「三重県 『産·学』 就職情報交流会」 開催

## ~ ゆとり世代の特徴と若手人材育成 ~

2月16日(木)~17日(金)の両日、三重地区学生就職連絡協議会、三重県高等学校進路指導協議会共催、三重県、 三重県教育委員会、三重労働局、三重労使雇用支援機構の後援をいただき、鳥羽シーサイドホテルにおいて、 第7回「三重県『産・学』就職情報交流会」が開催されました。

今回は、「ゆとり世代の特徴と若手人材育成」を総合テーマとして掲げました。今年度より本格的にゆとり世代の方々が入社され、企業においても対策が急がれる中、行政、企業の人事・採用担当者と、高等専門学校を含めた高等教育機関及び高等学校の就職担当者が、一堂に会する『産・学』就職情報交流会は、特別講演、産学による就職事情に関する発表、名刺交換会、2日目に産学によるグループディスカッションを開催し、互いの信頼関係の強化に繋がりました。

1日目は127名、2日目は55名の参加者が集い、就職、採用について有意義な意見交換を行いました。

### 【開催内容】

#### 第1部 産学就職情報会議

- 1. 開会挨拶
  - 三重県経営者協会 会長 岡本 直之氏
- 2. 基調講演 テーマ: 『ゆとり世代の特徴と若手人材育成』

講師:㈱HR経営コンサルティング 代表 佐藤 政人氏

講演内容 ①今の若年世代の特徴と時代背景

- ②人材育成における課題
- ③若手人材育成のポイント



挨拶する岡本会長



交流会風景



佐藤講師

- 3. 産学による発表会及び質疑応答
  - ・産学による発表会

企業側「今後の採用見通しと、今、企業に求められる人材とは」 長島観光開発㈱ 人事部 部長 竹市 昭 氏

講演内容 ①会社の事業内容

- ②採用実績
- ③今後の採用見通し
- ④研修制度
- ⑤会社が求める人材像



竹市人事部長 (長島観光開発(株))

学校側「インターンシップの取り組み及び最近の学生気質」

皇學館大学 現代日本社会学部 教授 笠原 正嗣 氏

講演内容:①最近の学生気質

②インターンシップの取り組み ③キャリア教育としてのインターンシップ

四日市四郷高等学校 教諭 長谷川 幸裕氏

講演内容:①学校の概要 ②就職に関する進路指導 ③インターンシップの取り組み

4. 閉会挨拶 三重県生活·文化部若者支援特命監 濵地 宣広 氏



笠原教授 (皇學館大学)



長谷川教諭(四日市四郷高等学校)



NHKよりインタビューを受ける岡本会長 (「ほっとイブニングみえ」で放映されました)

#### 第2部 産学名刺交換会

- 1. 主催者挨拶 ①三重地区学生就職連絡協議会会長 皇學館大学 学長 清水 潔 氏
- 2. 企業人事採用者と学生就職担当者による名刺交換会



主催者挨拶 清水学長(皇學館大学)



名刺交換会風景

#### 産学グループディスカッション(2日目)

「ゆとり世代の特徴と若手人材育成」をテーマに3グループに分かれ、グループディスカッションを行いま した。冒頭、座長より第1日目の「基調講演」、「企業、大学・高校の発表」の要旨を報告され、参加者より 自己紹介並びに昨日の感想を述べました。その後、フリーに質問、意見交換がなされ、各グループとも熱い討 議がおこなわれ、今後の若手人材育成とミスマッチ就職対策に有意義な情報交換の場になりました。

第1グループ

座長:皇學館大学 現代日本社会学部 教授 笠原 正嗣 氏

第2グループ

座長:三重大学 人文学部 准教授 石阪 督規 氏

第3グループ

座長:鈴鹿工業高等専門学校 電子情報工学科 准教授 伊藤 明氏 グループディスカッション風景



## 

#### 労務管理改善協力委員会

## 労管定例会議&2012年春季労使交渉セミナー

### 『2012労使交渉に臨む連合(三重)の基本姿勢』 『2012労使交渉対応の考え方と具体策』

2月29日(水プラザ洞津3階「孔雀の間」において、 労務管理改善協力委員会定例会議並びに、労管実務 セミナーとして「2012年春季労使交渉セミナー」を 開催いたしました。

当日は、定例会議34名、労管実務セミナーには、 35名の参加がありました。



挨拶する田坂労管会長

田坂会長の挨拶に続いて、第1部会・第2部会の 発足以降の活動報告を事務局の西場より行い、引き 続き今後の予定及び連絡・報告事項として、各社人 事異動にともなう委員・部員の変更と第62回労管コ ンペ、次回定例総会の説明がありました。



労管定例会議風景

定例会議終了後、同会場にて「2012年春季労使交 渉セミナー」が開催されました。

田坂会長の開会挨拶の後、日本労働組合総連合会 三重県連合会(連合三重)会長 土森 弘和氏より、 『2012年労使交渉に臨む連合(三重)の基本姿勢』 と題して、講演を伺いました。「働くことを軸とす る安心社会に向けて」をスローガンに連合三重の取 り組みを示されました。また、今春闘における取り 組みとして、4つの骨組み(①人材(財)への投 資・・・人はコストでなく成長の源泉②すべての労 働者の処遇改善と格差是正③運動の両輪としての政 策制度の実現④すべての組合が統一要求を掲げ社会 的な波及をめざすを中心に具体的な方針を伺いまし た。



講演する土森会長

続いて、日本経済団体連合会労働政策本部主幹 鈴木重也氏より『2012年労使交渉対応の考え方と具 体策』をテーマに、2012年版「経営労働政策委員会 報告」を基に、重大な岐路に立つ日本経済の動向、 雇用情勢等の説明を伺い、後半は危機を乗り越える ための人材強化策、労使交渉・協議における経営側 の基本スタンスを示されました。また、同報告書に 対する「連合の主張」にもふれ、人事・労務担当者 にとって大変有意義なセミナーでした。



講演する鈴木主幹

## 第4回女性懇話会

3月2日金リストランテ ソプラノにおいて、第 4回の女性懇話会を開催しました。当日は16名の参加があり、当協会の岡本会長も初参加となり、三重 労働局長 藤井礼一氏より「労働情勢報告」と、引 き続き三重労働局雇用均等室長 和田秀美氏より、 「改正育児・介護休業法の全面施行」の取り組みの 講話を伺い、最後に21世紀のエネルギーを考える 会・みえ 事務局長 服部 勝 氏より「"エネルギーのこと、環境のこと、ご一緒に考えてみませんか!"」の講話を伺いました。東日本大震災からちょうど1年、エネルギーや環境を改めて考える良い機会でした。その後昼食を取りながら談笑し交流を深めました。



初参加で挨拶する岡本会長



懇話会風景

## 第47回三重労使会議

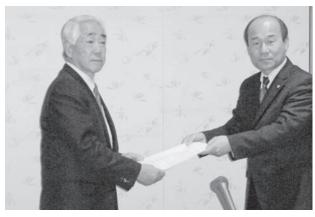
2月9日(村長島温泉ホテル花水木「紅梅の間」に て、第47回三重労使会議を経営者側14名、労働者側 15名の出席者で開催されました。

経協岡本会長、連合三重土森会長両会長より、2012年春季生活闘争への取り組み、最近の経済状況並びに雇用問題についての挨拶があり、その後、連合三重側より経協に対し「2012年春季生活闘争に関する要請書」が提出され、次に労使協働事業報告が行われました。最後に特別講演会として四日市港管理組合副管理者 石垣 英一氏から「港から見た世

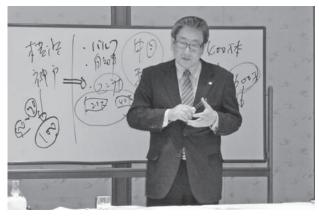
界経済の動向」と題した講話があり、昼食をとりながら終始和やかな労使の意見交換と、今後の春季労使交渉に向けて、双方の理解を深める有意義な会議になりました。

#### ■労使協働事業報告

- ①三重労使雇用支援機構活動報告
- ②三重県委託事業報告
- ③婚活事業「素敵な出会いの会」 "ハピマリ"活動報告



土森会長(右)から要請書を受け取る岡本会長(左)



講演する石垣氏

### 企業防衛セミナー



企業防衛セミナー風景

3月2日金プラザ洞津2階「桐の間」にて、企業防衛セミナー(中小企業経営者必見!!本当に大丈夫ですか・・・?企業防衛)が13名の参加者で開催されました。今回のセミナーは、中小企業経営者が企業防衛のためのセミナーとして開催しました。前半は、就業規則や労使トラブルについて、判例を踏まえて監督署対策等の説明、後半は、会社の相続対策等をわかりやすく図解を用いて詳細な説明がなされました。普段当協会がなかなか行わないセミナーでしたので、参加者も真剣に聞かれていました。

### BCPセミナー

3月22日(木)プラザ洞津 3 階「紅葉の間」にて、BCPセミナー【中小企業経営者必見!! 中小企業向けBCP(事業継続計画)策定に向けて】が15名の参加者で開催されました。今回のセミナーは、中小企業経営者向けのBCP(事業継続計画)又、自然災害・事故・新型インフルエンザのためのセミナーとして開催致しました。被災地域の企業の事例等も踏まえた内容でした。又、セミナー終了後、個別相談会を開催致しました。



BCPセミナー風景

## 最低賃金中小企業相談支援事業「人事労務管理研修会」

2月27日(月)四日市商工会議所1階会議所ホールにて、三重労働局委託事業最低賃金中小企業相談支援事業主催の「人事労務管理研修会」が52名の参加者で開催されました。今回の研修会は、「就業規則を見直す際の留意点」~あなたの会社の就業規則は大丈夫ですか?~として、社会保険労務士法人 若林労務経営事務所 代表理事の若林 正清 氏より、ご講演頂きました。

今回の内容は、人事労務担当者にとって、特に入れておかなければならない就業規則の一文や、ポイントを 分かりやすく説明頂き、最後の質問コーナーにおいても参加者より、活発な質問がありました。



講演する若林講師



研修会風景

## ワーク・ライフ・バランスセミナー

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた今後の展開に対する関心が強まりつつあることから、ワーク・ライフ・バランスの実態調査とそれを踏まえた「ワーク・ライフ・バランス取り組みの必要性」並びに、企業での事例報告などを含めたセミナーを下記のとおり県内4地域で開催いたしました。4会場の参加人員は197名を数え、各会場とも好評で大変有意義なセミナーとなりました。

#### ■開催内容

No	日時及び開催場所	プログラム
1	津会場 2月21日(火) 13:30~15:30 鈴鹿労働福祉会館 中会議室(3F)	<ul> <li>・基調講演         「県内のワーク・ライフ・バランスの促進に向けて」</li></ul>
2	<b>桑名会場</b> 3月2日(金) 13:30~15:30 桑名市民会館 大会議室(3F)	<ul> <li>・基調講演         「県内のワーク・ライフ・バランスの促進に向けて」</li></ul>
3	松阪会場 3月8日(木) 13:30~15:30 労働会館 会議室(2F)	・基調講演 「県内のワーク・ライフ・バランスの促進に向けて」 〜アンケート調査を交えて〜 高田短期大学 准教授 杉浦 礼子 氏 ・事例発表:万協製薬株 総務課長 野呂 有加 氏 三重交通労働組合 松阪支部 支部長 川端 貴治 氏
4	伊賀会場 3月14日(水) 13:30~15:30 ゆめぽりすセンター 大会議室(2F)	・基調講演 「県内のワーク・ライフ・バランスの促進に向けて」 〜アンケート調査を交えて〜 高田短期大学 准教授 杉浦 礼子 氏 ・事例発表:社会福祉法人 名張育成会 総務部長 宮田 義則 氏 パナソニック電エインテリア照明労働組合 委員長 小野 佳秀 氏



4会場で講演する杉浦准教授(高田短期大学)



事例発表する田中業務部長(㈱三交タクシー)

## 「再就職支援セミナー&新分野チャレンジ交流会」

中高年齢者(45歳以上)の雇用情勢は依然として厳しい状況の中、意欲と能力がある限り、年齢にかかわりなく働くことができる機会を多くし、また新しい仕事などにチャレンジする人のための支援として開催。このセミナーは、三重労使雇用支援機構中高年齢者雇用支援事業が主催となり開催致しております。各会場とも活発な質問があり、再就職を目指す中高年の方々に再就職のヒントになるセミナーでした。

#### ■開催内容

No.	日時及び開催場所	プログラム
1	津会場 1月26日(木) 13:30~16:20 サン・ワーク津 1階研修室 参加人数:52名	<ul> <li>・第1部 中高年齢者の再就職のために</li> <li>(株)R&amp;Eコンサルタント 代表取締役 小林 吉光 氏</li> <li>・第2部 中高年齢者の再就職のために</li> <li>(株)セブンーイレブン・ジャパン 第3リクルート部 東海地区 オーナー募集担当 築地 伸和 氏</li> <li>・第3部 中高年齢者が活躍する業界</li> <li>(株)メイハン 常務取締役 川瀬 和也 氏</li> </ul>
2	四日市会場 3月7日(水) 13:30~16:20 四日市市勤労者・市民交流センター 東館3階大会議室 参加人数:58名	<ul> <li>・第1部 中高年齢者の再就職のために</li> <li>(株) R &amp; E コンサルタント 代表取締役 小林 吉光 氏</li> <li>・第2部 中高年齢者の再就職のために</li> <li>(株) O - G O E 代表取締役 杉山 豊 氏</li> <li>・第3部 中高年齢者が活躍する業界</li> <li>(株) 三交タクシー 北部事業本部 部長 米川 和宏 氏</li> </ul>

#### 三重県委託事業

## 中高年齡者雇用支援事業

中高年齢者の再就職を応援します

極めて厳しい雇用情勢の中、三重県委託事業として、中高年齢者の雇用支援事業を開始させて頂きました。

経験

責任感

安定感

中高年齢者の豊富な経験と 企業が求める人材のマッチングを コーディネーターが させて頂きます。



#### お問い合わせ先

## 三重労使雇用支援機構 中高年齢者雇用支援事業

〒514-0033 津市丸之内 9-18 津丸の内ビル 3 階 (三重県経営者協会内) 電話:059-223-0222 FAX:059-223-0224

## Vol 10 NPO法人 人 材 育 成 セ ン ター

## キャリアアップ とリスタートを全力で応援します!



人材育成センターは、求職者をはじめ仕事を中断していた女性や母子家庭の女性、若者無業者、日本で働く外国人の方々の再チャレンジをサポートするNPO法人です。

①教育・職業訓練②就職支援③国際協力④ソーシャルビジネス支援という、

多様な4つの事業を経験豊富なスタッフが安心と万全のシステムでサポートします。

#### 教育職業訓練

#### ≪三重県委託訓練コース(平成24年度)≫

離職者が再就職に必要な技能及び知識を習得するための講座で公共職業安定所に求職申込みされている 方が対象です。受講料無料(テキスト代は自己負担)。

#### パソコン総務経理実務科

(H25.3/12~H25.6/11 3か月 四日市)

日常経理処理、IT活用技術を身につけ、企業人と して働く意識と意欲を備える人材を養成します。

#### ブライダルビジネス科

(H24.10/30~H25.1/29 3か月 桑名) ホスピタリティ・サービスが理解でき、ホテルなど で必要な知識、技能を身につけ、より良いサービス が提供できる人材を養成します。

#### 農業実践基礎科

(H24.6/26~H24.9/25 3か月 四日市)

農業の基礎知識を有し、農業法人への就業、新規に 農業を始められる準備ができる人材を養成します。

#### ≪求職者支援訓練コース≫

雇用保険を受給できない求職者の方が、職業訓練に よるスキルアップを通じて早期就職を目指すための コースです。受講料無料(テキスト代は自己負担)。

#### パソコン演習基礎科

(H24.6/6~H24.9/5 3か月 四日市)

H21~H23年度までの新規学卒者及び中退者優先。 パソコンの基礎はもちろん、コミュニケーションの 基本、自己理解、ビジネスマナーなども学習します。 ※その他、経理事務科(4か月 桑名)なども行っ ております。

#### 就職支援

#### 就職支援

履歴書・職務経歴書・エントリーシート等の書き方 や面接時のマナーのポイントを伝授します。

#### 国際協力

#### 外国人労働者能力向上プログラム

日本語学習はもちろん、日本社会で活躍するために 必要なビジネスマナーやスキルを指導します。 外国人向けの農業実務研修も実施し、TVなどのマ スコミでも大きく取り上げられました。

#### ソーシャルビジネス支援

#### 新しい公共を担う人材育成

NPO等の設立や運営、就業を支援し、CSR活動に かかわり社会貢献活動など、企業との連携・協働を 推進します。

#### 三重県協働事業に採択(平成24年度)

「農業分野における障がい者雇用促進プラン」がNPOと県、市町、企業などが力を合わせて一緒に地域の課題解決に取り組む、新しい公共の場づくりのためのモデル事業として採択されました。



## お問い合わせ

#### NPO法人 人材育成センター

《四日市教室》 〒510-0075 三重県四日市市安島1-2-5 TEL 059-337-8844 FAX 059-337-8845 《桑名教室》 〒511-0078 三重県桑名市桑栄町2桑栄メイト1階 TEL&FAX 0594-21-3355 http://www.ii-center.com

会員企業の最新HOTニュース(企業PR・店舗紹介・新商品・新サービス・新装オープン等)をお届けいたします。

■事業案内(三交タクシー)



#### ■事業案内(長島観光開発)

## ナガシマ スパーランド 「ナガシマこども遊園地 キッズタウン」



NAGASHIMA SPALAND

小さなお子様向けの新アトラクション8機種を導入し、エリアを15,000㎡拡張、総面積約45,000㎡のスケールとなります。又、7月下旬には"こども遊びゾーン『ちびっこひろば』"も新設し、遊園地の子供向けエリアとしては日本最大級の"キッズエリア"となります。

#### ■事業案内(鈴鹿短大)

## 鈴鹿短期大学が移転しました肌

平成24年4月より、鈴鹿国際大学のある郡山キャンパスに移転しました。

キャンパスのある小高い丘陵地からは、鈴鹿市街や伊勢湾、鈴鹿山脈も一望でき、とても景観のよいところです。落ち着いて学業に専念できるとても恵まれた環境にあります。

新住所及び連絡先

〒510-0298 三重県鈴鹿市郡山町663番地222 TEL(059)372-3900 E-mail info@suzuka-jc.ac.jp URL http://www.suzuka-jc.ac.jp

【本学の特色】三重県唯一の養護教諭養成機関、また栄養士養成施設として今日の礎を築いてきました。 平成17年度にこども学専攻を設置。平成23年度には生活学科を生活コミュニケーション学科に名称を変更。同年、専攻科健康 生活学専攻を設置し、養護教諭1種免許状の取得が可能となりました。各専攻分野を通してコミュニケーションを深く学び、地域 社会に大きく貢献できる人材の育成を目指しています。

生活コミュニケーション学科

生活コミュニケーション学専攻: 養護教諭・福祉コース/生活コミュニケーションコース

こ ど も 学 専 攻:幼稚園教諭・保育士コース 食 物 栄 養 学 専 攻:栄養教諭・栄養士コース

認定専攻科健康生活学専攻

※ご応募はメール(info@miekeikyo.jp)で承ります。詳細はメールでお知らせします。(掲載は応募順)

#### 三重県労働委員会

## 個別労働関係紛争のあっせん制度のご案内

~労使トラブルの解決をお手伝いします~

個別労働関係紛争のあっせんは、個々の労働者と会社との間で、労働条件などをめぐって紛争が発生し、自主的な解決が困難なとき、当事者からの申請に応じて、紛争を平和 的に解決するための仲介・援助などを行う制度です。

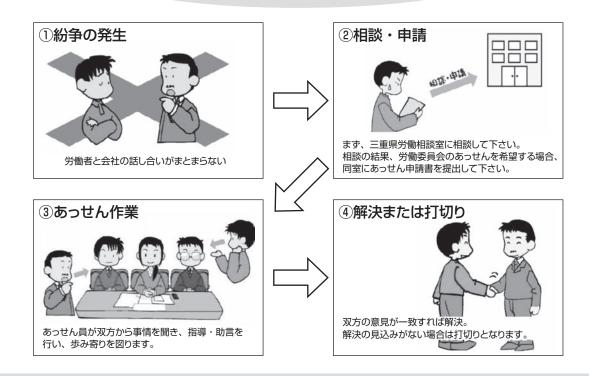
### こんなときご利用ください(例示)

- ・経営上の理由から配置転換を命じた従業員が、理由もなく拒否している。
- ・勤務評定に基づき賞与を減額した従業員から増額を求められ、話し合いがつかない。
- ・整理解雇した従業員に何度も説明を行っているが理解してもらえず、裁判所に訴えると言われている。

### 労働委員会のあっせんの方法

あっせん員は、労働者側、使用者側及び第三者の性格を持つ公益側から各1名、計3名の経験豊富な委員が任命されます。あっせん員が公平・中立な立場で当事者双方の言い分を聞き、紛争解決のために適切な助言を行い、双方の歩み寄りを図ります。その結果、双方の意向が一致することで解決が図られます。

まず、三重県労働相談室にご相談ください。あっせんは、三重県労働委員会が行います。



問い合わせ先 三重県労働委員会事務局 (〒514-0004 津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎5階) TEL 059-224-3033 FAX 059-224-3053 相談・申請窓口 三重県労働相談室 TEL 0120-31-1018



## 新会員の紹介

#### 特定非営利活動法人 陽向の会

事業内容 老人デイサービス事業

(高齢者福祉事業)

代表者 理事長 古儀 泰司 所在地 津市白山町岡31-1

電 話 059-262-2567

F A X 0 5 9 - 2 6 2 - 2 5 6 7



#### 株式会社 パソナ パソナ・四日市

事業内容 総合人材サービス

代表者 支店長 森下 実

所 在 地 四日市市浜田町5-27

第3加藤ビル

電 話 059-353-4246

F A X 0 5 9 - 3 5 3 - 4 2 5 8



#### 株式会社 現代経営技術研究所

事業内容 国際経営コンサルタント・教育研修・

システム開発(創業47年)

シニアコンサルタント 藤井 隼夫

所 在 地 東京都文京区本郷1-25-25

日商連ビル

電 話 03-3813-7338

F A X 03-3813-6964

URL http://www.gen-ken.co.jp



#### 株式会社 中部システム・センター

事業内容 OAシステムの販売・サポート・

メンテナンス

代表者 代表取締役 田中嗣泰

所 在 地 津市一身田平野175-1

電 話 059-232-3174

F A X 0 5 9 - 2 3 2 - 5 3 5 6



## 事務局に新しい仲間ができました。



#### 中村 和仁

この度、新しく事務局職員として仲間入りさせていただく中村です。よろしくお願いします。3年間協会の委託事業を中心にさせていただいており、以前は、協会の会員企業で、「労務管理改善協力委員会」の委員でもありました。

今後ますます会員企業様の期待に添えるよう頑張りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## れんらく・つうしん

#### 平成24年度 定時会員総会

◆日 程 平成24年5月29日(火) 13:30~16:30

◆開催場所 津都ホテル「伊勢東中」

◆内 容 ・平成23年度事業報告 など

・特別講演 小串正次郎 氏(財団法人 産業雇用安定センター 専務理事) 演題未定

### 社会保険(健康保険・厚生年金保険)実務講座

◆日 程 平成24年6月開催予定

◆開催場所 津市内を予定

## 平成24年度 インターンシップ受入事業所募集

平成24年度の受入登録事業所を募集します。

昨年は約600事業所の受入登録があり、610名の学生が参加し、大変好評を頂きました。 是非ともご登録をお願い申し上げます。

尚、詳細につきましては事務局 西場 (にしば) までご連絡をお願いたします。

\*参加する学生は、事前研修を受け、インターンシップ保険等に加入した上で実習に参加します。 (事業所側のご負担はありません)

## 受入事業所にとってのメリット

企業のPR効果

優秀な人材の発掘

職場の活性化

受入による 職業観・就労意識の形成・向上

三重県経営者協会 TEL 059-228-3557·3679

## 当協会の会員名簿発行遅延について(お詫び)

平成23年度内に会員名簿を発行予定にしておりましたが、当協会役員等の変更もあり、 年度内の発行が出来なくなり5月1日以降の発行となります事をお詫び申し上げます。

#### この件についてお問合せ

三重県経営者協会 西場まで TEL 059-228-3557·3679

## で存知ですか。こんな機関で

### 出向·移籍支援事業

# 「失業なき労働移動」をめざし

人材 送出

#### 人員に余剰感がある雇用調整を検討している

- ●一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- ●支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- ●工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- ●不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- ●事業規模の縮小を計画されている企業
- ●65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援 したい企業

出向 移籍の成立

企業どうしの話し合い

面接

産業雇用 記センター 送出情報の 収集・登録

受入情報の 収集・登録 送出情報の 提供

受入情報の

提供

材

- ●事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- ●新規部門に精通した人材を採用したい
- ●経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業
- 人員が不足している人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は 前もってご連絡ください。

## 関産業雇用安定センター 三重事務所 TEL 059-225-5449

名 とき ところ 業務日誌 人事労務管理研修会 1 /27(金) 四日市商工会議所 第47回三重労使会議 2/9(木) ホテル花水木 第7回「三重県『産・学』就職情報交流会」 2/16(木)・2/17(金) 鳥羽シーサイドホテル 労務管理改善協力委員会定例会 & 2012年春季労使交渉セミナー 2/29(水) プラザ洞津 3/2金 リストランテ ソプラノ 女性懇話会 プラザ洞津 企業防衛セミナー 3/2金 BCPセミナー プラザ洞津 3/22(木) 理事・役員会 & 特別講演 3/28(水) プラザ洞津



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

http://miekeikyo.jp info@miekeikyo.jp 平成24年4月25日 発 行 発行人/三重県経営者協会

ホームページ

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F E-mail